

数値地質図標準化: 記号, 用語等に関する JIS コード制定とその利用

Standardization of digital geological map: Enacted JIS codes for symbols and terms, etc. and the use

西岡 芳晴 [1]

Yoshiharu Nishioka[1]

[1] 産総研

[1] AIST

近年, 国土の開発, 環境保存, 災害対策等が進む中, 地質図はそれらを行う際に必要不可欠な地質学的情報を包括的に提供する図として需要が大きくなっている。一方, 異なる作成者, 多様な利用者・利用環境における地質図の高度利用を図るためには, その標準化が急務である。このため産業技術総合研究所(産総研)は以下の JIS 素案を提案した。

JIS A 0205:2008「ベクトル数値地質図 - 品質要求事項及び主題属性コード」

この JIS 素案は関連する機関等の委員による原案作成委員会の審議を経て, このたび公示される運びとなった。本論では, この JIS のうち, 特に主題属性コードについて内容や意義, 利用例等について紹介する。

この JIS では, 地質図で使用される, 記号, 色, 模様, 地層・岩体区分, 用語等についてのコードを規定しており, 用語については, 一般的な地質時代, 岩石名, 鉱物名, 化石名等を網羅している。また, コードは, それぞれのコードの持つシソーラスを反映させて付されており, 柔軟なコード付け, コード検索に対応できる。これらのコードは産総研が出版してきた 20 万分の 1 地質図幅等でテストされ, 十分な表現力を持つことが実証されている。さらに, コード設計においては, 国際基準を最大限に取り入れるように考慮されている。

この JIS が円滑に利用されるために, 関連データやツール類の Web サイトによる公開を準備中である。Web サイトでは, コード表をテキスト形式や XML 形式に出力したファイルとして提供する予定である。特に XML 形式のコード表データは, OS や言語環境などのプラットフォームに依存することなく, またインターネット技術との親和性も良い。また, それらを用いてコードを検索するページ, 実際に 200 万分の 1 日本地質図を変換した例などを提示する。

そのほか, 産総研では, 今回コード化された用語を含む, 地質図関連 JIS で使用されている専門用語について, 地質図の表現・利用に必要な地質用語集として作成を進めている。